

事業者達成状況報告書

2025年 8月 6日

鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 京都府京都市南区上鳥羽上鳥羽南塔ノ本町8番地1

氏名 尾池バックマテリアル株式会社
代表取締役 富田 弥寿夫
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第5項（第9条第3項）の規定により次のとおり提出します。

住所（主たる事業所の所在地）	京都府京都市南区上鳥羽上鳥羽南塔ノ本町8番地1						
氏名（名称及び代表者の氏名）	尾池バックマテリアル株式会社 代表取締役 富田 弥寿夫						
主たる業種							
該当する事業者要件	☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 ☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 ☐ 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 ☐ 特定事業者以外の事業者						
計画期間	2022年 4月 ～ 2025年3月						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （2021）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （2024）年度 （二酸化炭素換算）	増減率	報告年度（実績） （2024）年度 （二酸化炭素換算）	増減率	
	排出量（1）	4,192.0 t	4,192.0 t	0.0 %	4,076.7 t	△ 2.7 %	
	実績に対する自己評価	電力使用量は前年（基準年度）より微増であったが、電力会社のCO2係数が変化した事によるい、排出量が下がった。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率	報告年度（実績）	増減率
	工場	二酸化炭素換算 百m2	4.2 t-CO2/百m2	4.1 t-CO2/百m2	△ 3.0 %	4.2 t-CO2/百m2	△ 1.1 %
		二酸化炭素換算			%		%
		二酸化炭素換算			%		%
	実績に対する自己評価	排出量が下がったものの、前年度よりも生産数量が少し減った為、削減率としては-1.1%となった。					
寄与的取組	取組区分	目標年度（計画）		報告年度（実績）			
		実数値	二酸化炭素換算の削減量	実数値	二酸化炭素換算の削減量		
	再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給	(売電量) kWh	t	(売電量) kWh	t		
		(熱供給量) GJ	t	(熱供給量) GJ	t		
	再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	-	t		
	森林保全による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	-	t	-	t		
	電気、ガスその他のエネルギーの使用の合理化による二酸化炭素の排出削減の量等を表すものの購入	(購入量)	t	(購入量) GJ	t		
	削減量等合計（2）	0 t		t			
差引排出量（1）－（2）	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）		
	4,192.0 t	4,192.0 t	0.0 %	4,076.7 t	△ 2.7 %		
推進体制	設備更新、作業手順見直しによる効率生産。						
年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	内容				
	2024年度	空調機関係	・空調機の適正温度設定				
	2024年度	照明設備	・高効率照明器具への更新				
	2024年度	生産機	・高効率生産設備の活用				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	運送業者にアイドリングストップ運動を実施しています。 従業員にエコドライブについての教育を行い、推進しています。						
特記事項							

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

注2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。

注3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。

注4 主たる業種には、統計法（平成19年法律第63号）第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。

注5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

8/6 (65)